

■蜂須賀家政(蓬庵)  
はちすかいえまさ  
・・・・・・・・1558＝

武将。豊臣秀吉の天下統一に貢献して阿波一国を与えられ、子の早世で、徳島藩政も担った。

尾張国海東郡蜂須賀村で、尾張国の豪族益田氏の娘を母に、\_蜂須賀小六正勝の長男に生まれる。  
幼名は小六、通称を彦右衛門。

桶狭間の戦・1560＝2歳：

\_父に従って、はじめ、織田信長に仕え、

岐阜楽市楽座1567＝9歳：  
織田信長入京1568＝10歳：

石山合戦始・1570＝12歳：長篠の戦で初陣。

室町幕府滅亡1573＝15歳：

長篠の戦・1575＝17歳：次いで、\_信長の最有力武将豊臣秀吉の家臣となり、  
安土城築城・1576＝18歳：

上杉謙信没・1578＝20歳：この年以降、\_秀吉の中国毛利攻めに従軍、馬廻りの黄母衣衆として活躍する。

本能寺の変・1582＝24歳：本能寺の変に際しては、備中高松で毛利氏と交渉中の父に代わって出陣し、山崎の戦に手柄を立て、  
賤ヶ岳の戦・1583＝25歳：\_賤ヶ岳の戦に出陣、  
長久手の戦・1584＝26歳：\_紀伊根来・雑賀一揆攻めの功で、播磨佐用郡で3000石を与えられ、  
豊臣秀吉関白1585＝27歳：\*父正勝の四国攻めの功に、固辞した父に代わって阿波国17万6000石を与えられ、一宮城に入ると、徳島城  
と城下町の建設を一気に進め、次いで、太閤検地を実施しようとして土豪らの強い抵抗を受け、代官が戦死  
したため、自ら出陣しながら、“阿波九城制”や街道沿いに八駅路寺により、領国支配を徹底を図る。

秀吉太政大臣1586＝28歳：従五位下・阿波守に叙任。父正勝とともに阿波1国18万石に入部。この年、長子至鎮が誕生。  
パレロ追放令1587＝29歳：\_秀吉の九州征伐では日向高城攻略、  
秀吉全国統一1590＝32歳：\_小田原攻めでは伊豆菰山城に北条氏規を福島正則とともに攻略するなど、秀吉の股肱の臣として活躍。  
士農工商公布1591＝33歳：ようやく、祖谷山一揆を鎮圧。  
文禄の役・1592＝34歳：文禄の役に参陣し、

ルン島通交・1594＝36歳：

慶長の役・1597＝39歳：慶長の役のときには蔚山城に浅野幸長を救援したが、  
豊臣秀吉没・1598＝40歳：\_秀吉の機嫌を損ね、徳島城下の寺で謹慎するうち、秀吉が死去、

関ヶ原の戦・1600＝42歳：\*関ヶ原の戦では西軍に属し、大坂久太郎町橋を警固し、北国口を防御する任務を与えられていたが、自らは病氣と称して出陣せず、家老青木方斎を出陣させる一方、子至鎮を東軍につかせ、東軍の勝利がはっきり  
すると、方斎を処分し、自らは剃髪し蓬庵と号し、家督を至鎮に譲る。

阿国歌舞伎始1603＝45歳：

家康駿府退隠1607＝49歳：

キリシ教禁止・1612＝54歳：

大坂冬の陣・1614＝56歳：\_大坂冬の陣では、子の至鎮が大軍を率いて徳川軍に参陣する間、豊臣方から誘われるも断り、自ら江戸に  
赴いて、徳川方人質となるなど賢明に処理し、戦後、至鎮に松平姓が与えられ、  
大坂夏の陣・1615＝57歳：\_夏の陣に、徳島藩が参戦できなかったにもかかわらず、戦後、淡路国が与えられ、至鎮は大大名となる。  
徳川家康没・1616＝58歳：

秀忠娘入内・1620＝62歳：\*至鎮が先に没したため、その跡を継いだ幼い至鎮の長男忠英の後見役を幕府から命ぜられ、再び、藩政の表  
舞台に立って、領内の安定と幕府との交渉に当り、

利根川付替始1621＝63歳：

寛永禁書令・1630＝72歳：

徳川秀忠没・1632＝74歳：

島原の乱始・1637＝79歳：\_幕府の一国一城令で、九城が取り壊されるのをみながら、  
島原の乱終・1638＝80歳：\_没した。